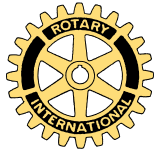


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 吉原孝彦
幹事 出口達也
会報委員長 佐野彰彦

2017～2018年度 国際ロータリー イアン H.S. ライズリー 会長テーマ

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE ロータリー: 変化をもたらす

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2995回例会プログラム

[当年度=21回目; 当月=3週目]

2018年(平成30年) 1月11日(木)

於: ホテルクラウンパレス知立

1. 例会……………〈司会: プログラム委員会〉

- 18:00 1. 点鐘……………〈会長〉
2. 開会宣言
3. 国歌斉唱
4. ロータリーソング斉唱
……………それこそロータリー
5. ゲスト紹介
6. 会長挨拶並びに会長報告
7. 幹事報告
8. 出席報告
9. 委員会報告
10. ニコニコボックス報告
11. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(1/22) ……
クラブフォーラム(研修情報委員会)
講師 地区研修委員会委員
加藤 真治 様
(紹介者 伊藤 節夫 会員)
- (1/29) ……卓話
講師 刈谷市長 竹中 良則 様
(紹介者 神野 公秀 会員)
※第2四半期皆出席の発表(出席委員会)

12. 諸事ご案内……………〈幹事〉
13. 点鐘……………〈会長〉
18:20 14. 閉会宣言

2. 知立 RC・刈谷 RC 新年合同懇親会

……………〈親睦活動委員会〉

- 18:30 開会
食事・歓談
20:00 閉会

出席

会員総数 96名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名
欠席 5名 出席率 94.19%
前々回(12/11)の修正出席率 100%

ゲスト



青少年交換学生 ローウェン・ステファンソン 君

会長あいさつ

十二支

吉原 孝彦



皆様明けましておめでとうございます。

今年は「戌」年です。さて、干支の漢字が動物の漢字ではないのはどうしてでしょうか。

干支は紀元前1400年頃殷の時代が始まりで、元々は木星の位置を表すもので、時間や月日を測るものでした。木星は12年でちょうど空を1周するので毎年の位置を示すために一つずつ、季節ごとに移り変わる植物の様子を表す漢字を割り当てました。

では、なぜ干支に動物を当てはめたのか。単純に覚えにくかった干支を身近で馴染みのある動物に替えて説明し普及させたからだそうです。

あてはめた動物でなぜネズミが1番最初に猫がいないのか。民話の中で、「神様が元旦の挨拶に来るように動物に行ったところ、牛は歩くのが遅いからと早く出かけた。これを見ていたネズミは背中に飛び乗った。そんなことも知らずに牛は1番に着いたが、ネズミが飛び降りて先を越し、1番になった。それで子、丑の順番になりました。猫は神様の所に行くのを忘れてしまってネズミから1日遅れの日程を教えられたので、12番目までに入れませんでした。」

それ以来、猫はネズミを恨んで追い掛け回しているそうです。

しかし、ベトナムには「猫年」があるそうです。

私は申年で今年は戌年。犬猿の仲と言われますが、本来の意味を知ればそんなことは全く関係無く、今年うまくやっていると信じています。

今年も仲良く、よろしく願いたします。

知立 RC・刈谷 RC 新年合同懇親会式次第

2018年1月11日(木)18:30～

於：ホテルクラウンパレス知立3F

セントピアホール

司会進行：刈谷 RC 親睦活動委員長 都築 浩介

18:25 入 場

18:30 開会のことば

刈谷 RC 副会長 堀田 昌義

18:32 会長挨拶

知立 RC 会長 福岡 宏則

刈谷 RC 会長 吉原 孝彦

18:40 乾 杯

刈谷 RC 直前会長 加藤 哲也

歓 談

19:00 アトラクション

～19:30

19:50 三本締め

知立 RC 直前会長 高木 秀夫

19:55 「手に手つないで」

ソングリーダー 今村 順

20:00 閉会のことば

知立 RC 会長エレクト

鈴木 民也

正 月

吉原 孝彦

明けましておめでとう御座います。あと半年、よろしく願いたします。

正月とは1月のことで、1年の最初の月を差しますが、そのように使われることは少なく、一般には正月を祝う期間を差します。大きく分けると三が日と松の内です。三が日は文字通りですが、松の内は、昔は15日までを言っていました。現在は7日までが一般的です。

元日とは1月1日のことで、元旦は元日の朝のことを

言います。元旦の「旦」の字は、太陽が地平線から出るさまを表した漢字で、朝や夜明けを表します。

年賀状は1月1日の朝に届くように出すのが礼儀であるため、日付は元旦と書きましょう。「〇〇年元旦」は良いが、「1月元旦」は月が重複してしまいます。

正月に大事なもので「お年玉」があります。渡すタイミングは正月が良いようです。

お年玉は、本来は「年魂」だと言われていて「年神様の魂」という意味で、お正月になると山から里へ下りて家へやってきて1年の実りや幸せをもたらしてくれます。門松は年神様が迷わないように立てるものです。鏡餅は年神様の依り代としてお供えするもので、魂が宿るものと考えられています。それを正月にお雑煮に入れて食べるのは、年神様の魂を頂く、という意味があります。つまり、お年玉とは元々は鏡餅のことでした。

鏡餅の上にはミカンではなく、橙が本来です。ミカンは春になると熟しきって落ちるが、橙は枝についたままどころか、翌夏にはまた緑色の実に戻り、一度実がなると4～5年以上落果しないそうです。こうして何代もの橙が枝についたままのことから、家系代々の長寿・繁栄を願うものといわれています。

